

## 富山県成長戦略の主な取組み状況について

### 1 成長戦略カンファレンス「しあわせる。富山」の開催

富山県成長戦略を県内外に発信し、富山県成長戦略およびビジョンを共有する県内外の方々が集い、成長戦略の議論を深め、連携して取り組みを進めるきっかけの場として富山県成長戦略カンファレンス「しあわせる。富山」を、本年3月12日～21日の10日間、県内各地を会場に開催（令和4年度継続開催）

プログラム	概要
メディアテーブル(イベント) 3/8(火)@東京(日本橋とやま館)	・首都圏のメディア関係者等を対象に、本県の成長戦略の取組みとカンファレンスについて中村委員と藤井委員、三牧知事政策局長がトークイベントで発信
オープニングセッション 3/12(土)@富山市(SOGAWA BASE)	・「なぜ富山はウェルビーイングを目指すのか」をテーマに、高木委員と新田知事が対談形式で発信
ビジョンセッション 3/13(日)～18(金) @富山市、砺波市、魚津市、高岡市	・15市町村で開催したビジョンセッションの発展イベントとして、県内4会場でそれぞれテーマを設定して、県民参加型のグループワークを開催
スペシャルセッション 3/19(土)～20(日) @南砺市、立山町、高岡市、朝日町	・富山の魅力や強み・課題をテーマに有識者や専門家などをゲストとして招いたトークセッションを開催 3/19(土)①食と自然@南砺市、 ②アクティビティ・ヘルスケア@立山町 3/20(日)③クラフト・アート・創作@高岡市、 ④モビリティ・過疎・人口減少@朝日町
成長戦略セッション 3/21(月)@富山市 (富山国際会議場)	・成長戦略の6つの柱ごとのトークセッションと、ビジョンセッション参加者による活動発表、知事の「幸せ人口1000万宣言」など、成長戦略の取組みとビジョンを発信

参加人数:計1,644名(会場585名、オンライン1,059名)

### 2 アクションプランの策定・予算化

成長戦略の実現に向けたアクションプラン(令和4年度版)を策定し、成長戦略に関連した幅広い分野の事業を予算化(154事業)

### 3 県庁の組織の見直し・人材の育成等

成長戦略の着実な前進のため、県庁の組織を見直すとともに人材育成を推進

- ①成長戦略と民間活力による事業創出を推進するため、「ウェルビーイング推進課」と「民間活力導入・規制緩和推進課」を設置
- ②令和5年度に設置される予定の「こども家庭庁」の受け皿となり、総合的なこども関連施策を進めるため、「こども家庭室」を設置
- ③緊急性、重要性の高い課題を既存の枠を超えて強力に推進するため、庁内プロジェクトチーム(PT)を設置
  - ・こども未来 PT、地域循環共生圏 PT、農産物輸出促進リーディング PT
- ④組織活性化のため、職員が現所属に籍を置きながらプロジェクトチームや他所属の事業に従事できる「庁内複業制度」を創設
- ⑤職員の挑戦意欲に応えるため、事業単位での庁内公募(「ジョブチャレンジ制度」)を実施(24事業で公募)
- ⑥DX人材育成のための部局横断的な研修の実施などの職員研修の実施 等

#### 4 「幸せ人口 1000 万 ～ウェルビーイング先進地域富山～」の発信

自由民主党の「日本 Well-being 計画推進特命委員会」(令和4年3月30日、自民党本部)に新田知事が出席し、本県の成長戦略と併せて、ウェルビーイングの向上に向けた取組みを説明したほか、県内外での講演等を通じて、知事から成長戦略のビジョン、富山県成長戦略の取組みを発信

#### 5 ウェルビーイングの推進に向けた取組み

4月～ ・県庁に「ウェルビーイング推進課」設置

- ・指標設定に向けた情報収集(有識者や取組企業と意見交換など)及び設定方針等の検討
- ・普及促進(県民の様々な幸せを紹介する県政番組等)

(今後の予定)

夏頃 指標設定のための県民意識調査を実施

年内 調査結果取りまとめ、指標公表

年度内 県内企業向け普及制度(ウェルビーイング経営を後押しするもの)の創設

R5年度以降 指標に基づく県民意識調査、ウェルビーイング普及促進

#### 6 市町村との連携による戦略の推進

市町村の関心の高い分野について、連携を密にしながら、ワンチームで効果的に戦略を推進していくため、令和4年度第1回「ワンチームとやま」連携推進本部会議(令和4年5月16日)において、各戦略の主な連携分野を示し、連携可能な分野への積極的な参画を呼び掛け

#### 7 SHIBUYA QWS(渋谷キューズ)を活用した民間企業等との連携推進

渋谷に集う多様な人材との交流機会を提供し、社会課題解決・価値創造の“共創施設”「渋谷キューズ」に入会し、富山県成長戦略の柱であるスタートアップ支援の機会創出や、官民連携(共創)の施策に共に取り組む人材・企業等の発掘、マッチングを推進

#### 8 SCOP TOYAMA の開設(令和4年 10 月予定)

全国でも先駆的な職住一体の機能を持ち、起業家や移住者を呼び込み、「ヒト・モノ・コト」が交流する創業支援センター及び創業・移住促進住宅(SCOP TOYAMA)を開設

- ※「SCOP TOYAMA」…S(Startup)、CO(Connect)、P(Project)の頭文字を取り、新しい仕事・新しい生活を始める人を様々なヒト・モノ・コトにつなぐ、また、ここから生き方や幸せを掘り起こして見つける、という意味が込められている。